様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 690144	児童生徒防犯対策事業費	主管課名	学校教育課
この事務事業の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成		
	施策	豊かな心と個性が輝くまち	課長名	水野　克弘
	基本事業	教育内容・活動の充実		

(1)事業の概要

地域ぐるみで子どもの安全を守る体制づくりが必要であり、子どもたちが安心して生活できる環境づくりを推進する。

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)：スクールガードを各学校で募集し、登下校時に子どもたちの通学の状況を見守る。また、スクールガードリーダーを３名配置し、学校の安全について点検するとともに、スクールガードを巡回指導し、見守り体制の充実を図る。緊急情報伝達訓練や事件回避訓練を実施し、緊急事態に対応できる整備を行う。

26年度計画：■前年と同様　□変更あり　変更内容：

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名称	単位
①	スクールガードリーダー人数	人
②	スクールガード登録人数	人
③	緊急情報伝達訓練の実施回数	回

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

児童生徒

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名称	単位
①	児童生徒数	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

子どもたちが安心して生活できる

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名称	単位
①	市内不審者前年度比	%
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安心して生活でき、進んで学習できる環境をつくるとともに、規則正しく生活する健康な体力づくりを行う態度を育てる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名称	単位
①	教育基本計画における重点施策の達成率	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	人		3	4	4	4	4
	②	人		2,562	2,900	2,900	2,900	2,900
	③	回		1	1	1	1	1
(6)の対象指標	①	人		6,718	6,564	6,620	6,585	6,458
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	%		69.4	50	50	50	50
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%		98.1	100	100	100	100
	②							
	③							

(10)予算費目

会計：01 一般会計　款：10　項：01　目：02

(11)コスト

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	0	1,838	1,941	1,918	1,925	1,928
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	1,838	1,941	1,918	1,925	1,928
人件費B		千円	0	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520
	正職員従事時間×人数	時間×人	×	205 × 2	205 × 2	205 × 2	205 × 2	205 × 2
	正職員以外の人件費	千円		0	0	0	0	0
その他費用C		千円		74	70	70	70	70
トータルコストA+B+C		千円	0	3,432	3,531	3,508	3,515	3,518
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人		1	1	1	1	1
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690144	児童生徒防犯対策事業費

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
平成１８年度　から	保護者、地域住民より子どもの安全を守ることが重要課題と言われている。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 平成１７年度愛知県教育委員会の指定を受け、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」に取り組んだ。学校もスクールガードリーダーの指導の下、地域やＰＴＡに働きかけ学校安全体制整備を強化する動きが活発化してきた。この活動を単年度で終わらさせず、長期的に継続する必要があるため。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ □変化していない ■変化している → 変化した内容：子どもたちの命が奪われる痛ましい事件が相次いでいる。	

3 評価（SEE）				
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	なし
			この事務を行う根拠又は理由	こどもが被害にあう事件が多発し、地域で子どもの安全を見守る意識が高まっている。
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	■できる □できない	理由又は内容	スクールガードの登録数を増やし、活動内容の充実を図る。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → □庁内事業 / ■庁外事業 □ない	類似事業名	愛知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容： ■ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	メール一斉配信システムにより、不審者情報を地域住民に配信し、今後も地域と学校との連携強化を図る必要がある。					